

住重工場跡地に マンション・ホテルなど

活性化に期待

市内西浦賀の住友重機械工業(株)の工場跡地で、来年度から大規模開発事業が始まります。

浦賀地区は、1世紀に渡り約1千隻もの艦船から大型タンカーまで建造し続けた住友重機械工業(株)の造船所(浦賀ドック)を中心に栄えたまちです。同ドックが平成15年に閉鎖され、その跡地を利用した「浦賀港周辺地区再整備・事業化プラン」が策定されましたが、10年にわたり動きが止まったままです。

この間私は、再び活気を取り戻すべく「浦賀の再生」について考え行動してきました。そこで、今定例会の一般質問において市長に同プランについて質問したところ、関連して大規模開発が明らかになりました。

計画地は、西浦賀4丁目25ほかの浦賀ドック跡地の南側に位置する一帯。事業者は、ユ



ニマツトグループで不動産の開発や販売などを行う(株)ユニマツトヴェラシス(井上正樹代表取締役)。

計画面積は約8万2千平方メートルで、18〜22階建ての分譲を含めたマンション8棟(計約2千500戸)のほか、会員制および一般向けのホテルや飲食施設、チャペル、貸ホールの建設などが予定されており、来年度中に着工し、全体の工事期間は10年程度の見込みです。

過去10年では市内最大規模の開発で、浦賀だけでなく市全体の活性化につながるものとして期待が寄せられています。

下水道使用料が

10月から値上げへ

財政状況悪化を抑制

下水道使用料の値上げ議案が今定例会で可決されました。下水道事業財政の収支につ

いては、次期実施計画期間となる平成26年から29年の4年間の財政収支見通しが、当初6月の第2回定例会の報告では平成29年度末で約49億円の資金不足となり、この不足額を下水道使用料で賄う場合には、現行の使用料を平均で約26%も値上げする必要があります。しかし、その後さらに収入支出の見直しが行われ、増税の見込み等も加味したことなどにより、36億円に抑えられ、平均改定率は約17%になりました。今年10月から施行されま

ありがとう横須賀

〜雑感〜

今年4月に消費税の増税が予定されています。昨年来アベノミクス効果により好景気の機運が続いていますが、その波が地方経済まで届いているかというところは言いきれません。本市の人口減少に歯止めもかかっていません。そんな中、今回の報告でも触れ

小児医療費無料化

小3まで拡大

今年4月から実施

議案が可決され、小児医療費の無料化が4月から小学校3年生まで引き上げられます。

同費用の無料化については昨年10月に小学校2年生までに拡大され、今回さらに1歳拡がったものですが、かねてより私たちは拡大を訴え続けており、ようやく市長も2期目を迎えて小学校6年生まで目標にしたいと表明しました。今後も注力していきます。

ましたが、今年度中に着工となる浦賀地区の大規模開発事業やさらには来年度9月に中央地区に完成予定の商業・住居一体複合施設「ザ・タワー横須賀中央」など、新しい息吹も感じ始めています。しかし、ハードが整ってもソフトの部分、市民の皆さんの生活環境がおざなりでは意味がありません。今年1年、本市に今何が必要かを常に考え、しっかりと議員活動を全うしてまいります。

大野忠之へのご期待・ご要望・ご意見などをお寄せ下さい。 FAX : 046-838-6573

ご氏名

ご連絡先